

第9回 脳卒中カフェを開催しました

—失ったものを数えるのをやめ、残されたものを最大限に生かそう—

「パラリンピックの父」、「障害者スポーツの父」とされるリハビリの世界では有名なイギリスの神経学者、ルートヴィヒ・グットマンの言葉です。

脳卒中は命を落とす方は減りましたが、後遺症に苦しむ方は少なくありません。今まで当たり前であった機能が突然失われたり落ちたりして、出かけるのがおっくうになったり、ふさぎ込みがちになったりする方もいらっしゃいます。当院では、悩みを抱える方やご家族が気軽に集まることができ、孤立しないように支援するため「脳卒中カフェ」を開催しています。

6月22日に「第9回 脳卒中カフェ」を開催し、12名の方に参加していただきました。

当日のプログラムは、ミニ講座「医療制度について」、健康体操では中国出身のスタッフによる「座ってできる太極拳」

(リハ医：ヤンDr. 理学療法士：鄭)、参加者とスタッフが全員参加した「ベビーカステラ作り」の3本でした。今回も国際医療福祉大学成田キャンパスから、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科の学生6名が駆けつけてくれました。

ミニ講座では、医療制度を有効に活用するためのポイントをわかりやすく簡潔にお伝えしました。

健康体操では太極拳の柔軟な動きに戸惑いながらも皆さん必死に体を動かしていました。

ベビーカステラ作りでは、生地がたこ焼きプレートから溢れないよう注意しながら流し込み、竹串でたこ焼きを作るかのように、くるりとひっくり返すと、こんがり焼けた可愛いカステラが出来上がりました。完成したカステラを紙コップに入れ、フルーツや生クリームでトッピングして美味しくいただきました。



一人分にはちょうどいい大きさです



静かな雰囲気の中、真剣な眼差し



「きれいな丸ができた！」

次回は **9月28(土) 15時30分**に 当院、回復期リハビリテーション病棟訓練室で開催します。

(詳細はホームページをご確認ください)

脳卒中や脳梗塞になった方とそのご家族が対象です。

ご家族だけの参加も歓迎いたします。

ご興味のある方はぜひ、ご参加ください。